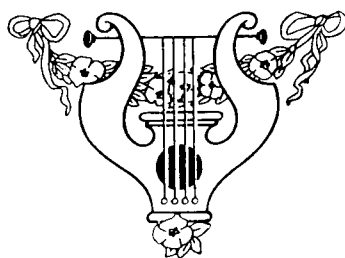




鎌倉交響楽団
第37回定期演奏会



'81 5月16日(土) 6:30p.m.

鎌倉市中央公民館



春……“かまきょうの四季”は春・定期演奏会への練習から始まる。桜が花開く頃、ようやく音に磨きがかかり、合宿(写真)を経ていよいよラストスパート。熱がこもる。曲はチャイコフスキーの五番、ラフマニノフのP協ほか。今や実力派の神野明氏をソリストに迎える。指揮は、おなじみ前田幸市郎、藤原義章両先生。この頃、団員が急激に増加、とくに弦楽器。エキストラなしの演奏会が実現し、他のアマ・オケからうらやましがられる。

春



冬……冬場の練習はキツイ。でも、音楽に熱中してれば寒さなんかコワクナイ、(写真)。1月、ニューイヤール・コンサートを開催。初めての試み。何度もを練ってきた。J.シュトラウスを中心に映画音楽や日本の歌など盛りだくさんの内容。うけた。鎌倉のママサン・コーラスの皆さんに感謝。ありがとう。そんななごやかな演奏会の余韻もさめやらぬまま、次の週にはもう春定期(今日が本番です)の練習……とこうして鎌響の四季はめぐるのです。

冬

夏……まぶしい季節がやってきた。だが鎌響に夏休みはない。定演がおわるとすぐサマー・コンサートの準備。恒例になった幼稚園児のための演奏会、市内巡回演奏会と多忙。そして、当楽団の練習場を提供して頂いている御成小で音楽教室。おそろいのTシャツでイメージチェンジ。ペットのオニイサンがサインゼめにあうというひとこまも。さらに湘南鷹取団地から声がかかり、当地夏祭りに出演。大好評。指揮の古谷先生、大いにハッスル(写真)。

夏

秋

秋……鎌倉の残暑は厳しい。秋の定期にむけ汗だくの練習となる。「練習後のビールは格別だ……」とノンキなひともあるけれど、この時期みっちりシボラレル。千葉県岩井での合宿(写真)で腕をあげていく。ブラームスの四番、ショパンのP協ほか難曲ぞろいだ。大坪由子さんのピアノ、指揮は、前田、古谷両先生。定期後大きな演奏会ふたつ。県立音楽堂(七市フェスティバル)、日生劇場(全国青少年アマ祭)に出演。力量の程がタメされる。



〈80年度正式記録〉

1. 団員総数……110名
2. 財産となったもの……編曲(古谷先生による)3曲。楽譜(新購入)4曲。ペダル付ティンパニ1対(打楽器連中大喜び)。オソロイのTシャツ140枚(ホントは自費)。エンピツの拾得物約50本(どうも忘れん坊が多いのです)。ブロック(舞台の基礎台に使用)30個
3. ゴールインした団内カップル3組。
4. コンパであけたビール600本。
5. 演奏会でヒヤリとした回数、無数。



鎌倉交響楽団第37回定期演奏会

後援 鎌倉市教育委員会
鎌倉音楽クラブ
文化協会

曲 目

- 指揮 古谷誠一
1. 大学祝典序曲
ブラームス
2. 交響曲第35番ニ長調 K.385
モーツァルト

《 休 憩 》

- 指揮 古谷誠一
3. 交響曲第9番 ホ短調 op.95
ドヴォルザーク
- I アダージョーアレグロ・モルト
- II ラルゴ
- III スケルツォ
- IV アレグロ・コン・フォーコ

私塾の良さを温存した少人数制・各教室・多彩な内容の展開

KS 鎌倉ゼミナール

- 鎌倉教室 鎌倉市小町1-5-27 ☎0467(25)2319
- 和田塚教室 鎌倉市由比が浜3-4-5 ☎0467(25)2219
- 逗子教室 逗子市逗子2-6-31 ☎0468(72)1237

〈 曲目解説 〉

ブラームス《大学祝典序曲》

1879年の3月、ヨハネス・ブラームス(1833~97)は、ドイツの Breslau の大学から名誉博士の称号を受け、その礼として、この「大学祝典序曲」が書かれることになりました。曲は1880年の夏、「悲劇的序曲」と同じところに完成し、12月6日に2曲共に初演、翌年1月4日にブラームス自身の指揮で公開初演が行われました。

この自由なソナタ形式風の序曲の中には、4つの学生歌が、おり込まれています。そのため、ブラームス自身この曲を「ズッペ風の接続曲」と呼んだこともあります。

曲は、ハ短調のアレグロで、遠くから聞こえてくる行進のような第1主題が始まります。やがてこの主題を用いながらクレッシェンドしてfになると、リズムカルな力強い楽想があらわれます。それが次第に穏やかになっておさまると、ティンパニが、何かを予告するように、Pで鳴ります。すると曲は明るいハ長調に変り、金管が壮厳に「われらは立派な校舎を建てた」という学生歌を奏します。

この学生歌は、弦の上昇音階にのってffに達したところで終り、第1主題の変形が、4分の4拍子で壮大な行進曲風にあらわれます。この行進曲が一段落して、ふたたびもとの第1主題があらわれ、ホ長調に転調すると、第2の学生歌「国の親」が、チェロの(至難の)ピチカートにのって、抒情的に第2ヴァイオリンによって歌われます。

この歌が一段落すると、曲はテンポをあげて、ファゴットがユーモラスな第3の学生歌「新入生の歌」を、スタッカートでソソソソソーラーシシシシードーと歌います。ブラームス自身「笑いの序曲」とも呼んだこの序曲のユーモアの頂点。この学生歌はさまざまに扱われ、最後にffで全奏さ

れます。

ここまでが、この不規則なソナタ形式の序曲のいわば呈示部で、このあと展開部、再示部に相当する部分で以上の主題が扱われたあと、終尾で、金管が4分の3拍子、マエストーソで、弦の急激な上昇下降音階にのって第4の学生歌「だから愉快にやろうじゃないか」を壮大に奏します。

モーツァルト《交響曲第35番「ハフナー」》

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756~1791)のウィーン時代最初の交響曲です。父親レオポルドが親しかったザルツブルグの市長ハフナー一家の祝典のために書かれたのでこの名があります。最初は、6楽章から成るセレナードとして書かれていましたが、のちにモーツァルト自身が、4楽章の交響曲に改作しました。

この改作については、おもしろい話があります。モーツァルトがもとのセレナードを仕上げたのは1782年7月から8月にかけてのことですが、その翌年2月に彼は、父親への手紙に次のように書いています。「交響曲、とりわけいちばん新しい交響曲(「ハフナー」のこと)をすぐさま送って下さい。——というのは、四旬節の第3日曜日、つまり3月23日にぼくの音楽会が開かれるからです。ぼくはなお、ときどき写しを作らせねばなりません」

コピーのない時代は大変ですね。ところで、2月15日の手紙で、彼はくだんの譜面を受け取ったことを認めて、次のように言っているのです。

「ぼくに曲を送っていただいて、あなたに心から感謝します!——新しいハフナー音楽には、ぼくはまったく驚嘆させられました。——それでぼくは、これについてなんらいうことばも知りません。——この曲はきっとすばらしく受けるに違いありません」

ついこの間、自分自身が作曲した曲を彼は忘れ



珈琲・洋菓子

177

小町通り (22) 2689
(22) 8963

31-1960

あなたの音楽の要求をプロの店

ミュージックショップ Y

が解決します。

レコード・楽器・楽譜・オーディオ
のご相談は

“音楽の出前持ち”

ミュージックショップ Y

TEL.31-1960 鎌倉市七里が浜東4-14-1

◆レコードと

ミュージックテープの
専門店◆



GAKUSEI-DO

合資 楽聖堂
会社

レコード部 鎌倉銀座通 ☎0467(25)2270

テレビ部 鎌倉銀座通 ☎0467(22)3281

" (23)3124

ていたのですね。こうしたことは、モーツァルトにはよくあったことだとヒルデスハイマーは言っていますが、『モーツァルト』(白水社)、いかにも、ベートーヴェンでなく、バッハでもなく、モーツァルトのエピソードではありませんか。

曲は、華麗な響きと浮き立つようなリズムを基調としています。モーツァルトは手紙の中で言っています。「最初のアレグロは、まさしく火のように奏されねばなりません。——最後の楽章はできる限り速く」ああ!

第1楽章アレグロ・コン・スピリトは、大きな跳躍と、鋭い前打音を持つ第1主題を中心に展開します。ソナタ形式の形にはなっていますが、真の意味の第2主題を欠き、すべてが第1主題によってつくられています。

第2楽章アンダンテは、第1ヴァイオリンの歌う美しい第1主題に始まり、ついで第2ヴァイオリンとヴィオラがデュエットで、軽やかな第2主題を歌います。弦の美しい楽章です。

第3楽章メヌエットは、複合三部形式による典型的なメヌエットで、メヌエット、トリオのあとにメヌエットが反復されます。

第4楽章プレストは、軽妙で浮き立つようなリズムにあふれる第1主題に始まります。この主題は「後宮からの誘拐」のオスミンのアリアからとられています。これに対して、いくぶんなだやかな第2主題があらわれ、展開部（といっても早示部の反復に近い）、再現部に進んで華やかに曲を結びます。

ドヴォルザーク《交響曲第9番「新世界より」》

アントニン・ドヴォルザーク（1841～1904）は御存知の通り、チェコの国民楽派の作曲家ですが、1892年、ジャネット・サーバー夫人の招聘に応じてニューヨーク国民音楽院院長の地位を引き受けました。そして3年間にわたってアメリカに滞在

したのですが、この期間に彼は、インディアンや黒人の音楽を研究して靈感を受け、一連の作品を残しています。この交響曲は、弦楽四重奏曲「アメリカ」などとともこの時期の作品です。「この交響曲は、私の以前の作品とは本質的に違っています。たぶん少しはアメリカ的なのです。もしアメリカを見るのがなかったらこのようには書かなかったでしょう」とドヴォルザーク自身、述べています。

初演は1893年12月16日に、ザイドル（この人はハンガリー出身）指揮、ニューヨークのフィルハーモニー協会管弦楽団の演奏で行われ大成功を収め、会場に臨席していたドヴォルザークは、一目でそれと分るその頭に、楽章ごとに拍手を浴び、最後には舞台上に引き出されたということです。

第1楽章アダージョーアレグロ・モルトはチェロの歌い出す美しい旋律の序奏に始まり、豪快な第1主題、黒人霊歌をもとにしたといわれる第2主題によるソナタ形式で進みます。

第2楽章ラルゴは、コール・アングレが歌う主要主題によって余りにも有名です。この主題は最後に弦楽器1フルトずつから、さらにヴァイオリンとチェロのデュエットで歌われます。日本でもよく知られている「家路」という合唱曲は、この旋律に、ドヴォルザークの弟子フィッシャーが歌詞をつけたものです。

第3楽章スケルツォ、モルト・ヴィヴァーチェは、生氣潑刺とした音楽で、強烈な序奏に始まり、フルートとオーボエにスケルツォ主題があらわれます。躍動的な舞踏の音楽です。

第4楽章アレグロ・コン・フォーコは9小節の序奏について、ホルンとトランペットが雄渾な第1主題を奏し、進んで第2主題は、弦のトレモロにのってクラリネットがのびやかに歌います。展開部では、第1主題を柱としながら1楽章から3楽章までの主要主題が次々に登場して展開し、力強いコーダで全曲を結びます。

通勤・通学服もおしゃれ着も

すべて1日でOK!!

特急仕上でしたら2時間で…

ファッション・クリーニング



スピードクイーン

逗子店 0468(71)3293 鎌倉由比ヶ浜店 0467(22)1501

逗子駅前店 0468(73)8114 茅ヶ崎十間坂店 0467(85)7310

鎌倉大町店 0467(25)3722 茅ヶ崎共恵店 0467(85)9209

鎌響ファンの声

最後の演奏会

逗子市小坪在住 米村晃多郎

三十数年も昔のこと、少年の私は日比谷公会堂二階の最後列の席に一人で座っていた。天井桟敷とおぼしき私のまわりに空席がちらつく程度で、会場はほぼ満席であった。つめかけた聴衆は私よりずっと年上の人たちばかりに思え、大人たちの会場へまぎれこんでしまった気恥しさにうずいていた。一人で演奏会へ行くのも初めてのことであり、大人たちのなかで落ち着きを失った私は、最高段の席へかくれるように座っていたのである。

舞台の交響楽団は、はるか下方に小さく見え、楽団員の表情などももちろんわからない。公会堂の天辺のあたりから見下ろした照明に輝いている演奏舞台は、谷間の底をのぞくように思えた。長身の指揮者が体をくの字にまげたり、横へゆれたりする黒い姿が、マッチ棒の影絵のように映った。

第二次世界大戦のさなかのことで、戦況ははげしくゆれ動いていた。日本がああ悲劇的な破局へむけて突き進んでいた時代であったが、少年の私にはそのような情勢をわかるはずもなかった。日本の必勝を信じていた中学生の私は、学徒勤労動員で狩りだされて毎日通信機の軍需工場へ通っていた。ある日、父から「聴きにいくか」と、一枚の切符を手渡された。工場を早退した私は、菜っ葉服にゲートル巻きの姿で公会堂に向いたのがその日のことである。

曲目はほとんどおぼえていないが、なぜかヨハン・シュトラウスの「春の声」だけいまでも鮮明にのこっている。演奏会が終り、公会堂からはきだされて日比谷公園を歩いていたときの、芽吹きはじめた新緑の季節と結びついていたのだろうか。あるいは、早春の緑樹や小鳥たちの天空へ舞い踊

るような「春の声」の軽やかで明るいリズムに、工場のきびしい勤労の日々から解放された束の間のよろこびが重なっていたのかもしれない。

その日の演奏会では、気難しい曲目はやらなかったかと思う。たしか日本青年交響楽団といったように思うが、あの暗い時代に少年の私が聴いた最後の演奏会であった。

翌日、工場へ行くと級友にかこまれた。重大な時局下に音楽会などへ行くふらちな奴となじられたのである。私には弁明のしようもなかった。三、四年長の大学生が神宮球場から学徒出陣におもむいたことも知っていた。予科練などへ早々と入隊した級友もあり、私も一、二年後の入営は当然のことと覚悟していた。級友たちにかこまれて、私はあやまるだけであった。私はそれから一年も経たないうちに、海軍の軍籍にはいった。

日本が敗けたあと、焼野と化した廃墟のなかでラジオから流れる「スプリング・ボイス」を耳にしたりすると、いつもあの演奏会が思い出された。くるめくような明るい旋律の奥に、暗い思い出が重なってしまうのであった。

二年ほど前に、鎌響の切符をいただいたので十才になる息子と連れ立って行った。家の者にナマの演奏会へ連れていけといっていたのだが、果たしていなかったので良い機会とおもった。鎌倉公民館は空調の設備が悪く、演奏会場の息苦しさや曲目の長さに息子は閉口して、私の手をひっぱり帰りがかっていたが、演奏会が終演に近づくころには、息子のむづかる様子は消えていた。会場をでて、カンジュースに口をあて、がぶがぶと渴きをいやしている息子は興奮していた。高揚している息子の面持をみやっていて、木々が騒ぎ、若葉が躍る遠い少年のころのあの演奏会がまた蘇ったことであった。

横須賀線沿線唯一の……

フラワーデザイン材料

美しい花に調和をもたらす花材の総合商社

全国花材流通協会会員・JFTD賛助会員・NFD賛助会員

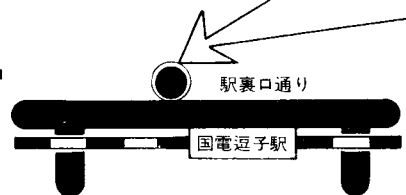
サン産業株式会社

〒150 東京都渋谷区恵比寿南2-4-4

〒249 神奈川県逗子市山の根1-3-6

TEL (0468) 71-2025

逗子駅
下車!!



鎌響ライフ……………

我が家のチェロ弾きパパ

佐藤 礼子

我が家のパパには、どこかの名探偵ではありませんが、たくさんの顔があります。一つ整骨医として、診療室で見せる、優しくも威厳のある顔、一つ、我が家の王様として、威張ったり、それはそれは、大きな口をあげ、大きな声で笑ったりする時の楽しそうな顔、一つ、柔道を教える時の力強い顔、一つ、小さな鉢植の花や、屋上の家庭菜園をいじる時のやさしいおだやかな顔、そしてとっておきはチェロを弾く時の実に複雑な顔、顔、顔、それは喜びであり、幸せであり、自由でもあります。とにかく音楽好きでチェロが好きなんです。「今日は患者さんが多くて疲れた疲れた」なんて目をショボショボさせて今にも居眠りをしそうな顔をしていたくせに鎌響の演奏会が近づいたりしますと、それは夢中でチェロを抱いて、いや抱きしめて（私から見ますとそうとしか思えません）楽譜に向いますとこれがもうどこでどうなりましたかショボショボしていた目は爛々と輝き出してまさにその顔は恍惚の人といった感じです。そういえばチェロってなかなか女性的な形をしていますもの。やきもち？いいえチェロにはやきもちは焼きません。なぜって長い間主人の音(?)に付き合ってきて、鎌響の演奏会を何度も聴きに行っておりますうちにいつのまにか私も音楽が大好きになってしまいました。団員の皆様が心を一つにして演奏をなさる時のお顔がとても素晴らしく、あまり音楽にはくわしくない私でも心が弾むような感動を受けることも度々ありました。ですから主人がチェロを続けて来たこと、鎌響の団員でありますことは私にとりましても、とてもうれしく誇りに思っていることなのです。主人に

はいつまでもチェロを愛し、音楽を愛して行ってほしいと願っております。

すてきなチェロさん、鎌響の皆様、これからも主人をよろしく願いたします。

佐藤 千穂

パパはいつもひまがあると応せつまにとじこもってチェロをひいています。いちどひきだすとよんでもきません。だからいつもはらがたってしまいます。「しょくじですよ」といってもぜんぜんきません。だから「パーパー」といって足をバタバタさせるといやいやひくのをやめます。午ごもしんさつじかんが三じからなのに三・四分すぎてしまいママにしかられます。チェロにむ中になるのもいいけどこっちのこともかんがえてよネ！パパ。でも一つだけいいところがあります。わたしのだいすきな「けいきへいじょきょく」のレコードを買ってくれてパパの大きなステレオできかせてくれたんだもん。！ おわり



カフェーテラス

ラパン

特選料理

ビーフシチュー

ホタテプロバンス風

仔牛シャンピーソース

仔牛ミラネーズ

- 生ビールはじめました。
- 小中宴会承ります。

鎌倉市御成町14-1御成ビル1F
TEL.24-1146

団 員 名 簿

理 事 長 伊 沢 龍 作 常任指揮者 前 田 幸市郎 指 揮 者 古 山 誠 一
 コンサート・マスター 島 中 正 志 運 営 委 員 長 谷 本 賢 二
 技 術 顧 問 吉 水 洋 ・ 藤 原 義 章 マネージャー 多 山 宏

Violine 飯 田 久美子
 石 川 悦 子
 井 上 詠 子
 野 多 康 男
 沖 野 千代子
 小 栗 綾 子
 川 原 美 保
 川 西 治 子
 喜 多 梃 昇 次
 橋 本 武 圭
 桐 本 慶 邦
 小 藤 いづみ
 齊 田 絃 子
 下 真 孝 雅
 新 瀬 梨 公
 高 多 中 川 紀
 中 崎 久美子
 中 井 八 郎
 永 西 村 中 助
 嶋 蜂 谷 光 代
 堀 野 明 子
 牧 田 秀 理
 増 田 正 彦

Violine 松 野 美 智 子
 丸 山 寿 一
 八 城 仁 恵
 山 下 瑤 子
 荒 井 国 夫
 内 海 原 俊 郎
 小 美 間 克 哉
 高 田 知 子
 田 辻 重 博
 羽 水 上 秀
 伊 沢 龍 清
 飯 田 達 男
 齊 藤 安 芸
 上 田 和 美
 加 藤 律 一
 佐 藤 元 章
 浄 法 寺 澄 子
 田 東 堂 英 樹
 服 部 甚 藏
 藤 村 明 健
 松 川 内 郎
 文 珠 大 北 洋
 大 北 真 貝 行
 菅 菅 原 潤
 島 山 野 人
 本 健 稔

Oboe 緒 方 正 剛
 中 山 沢 良 壽
 高 本 橋 賢 二
 菊 岸 弘 子
 岸 田 秀 人
 沢 間 瀨 五
 吉 伊 田 亮
 金 木 内 光
 矢 入 江 千
 関 松 根 道
 坂 本 直 樹
 幡 野 和 久
 藤 山 尾 正 明
 小 津 泉 金 勝 之
 中 原 山 田 壯 一
 座 北 村 本 雄 利
 藤 小 島 井 理
 阿 上 原 友
 高 橋 正
 根 岸 札
 間 瀨 川 友
 宮 川 久

Flute 田 瀨 田 沢 子 内 作 江 根 木 本 野 尾 田 泉 金 島 山 田 村 本 島 井 部 原 橋 岸 瀨 川

Clarinet 伊 金 木 矢 入 関 松 坂 幡 藤 山 小 津 中 原 座 北 村 本 島 井 部 原 橋 岸 瀨 川

Bassoon 入 関 松 坂 幡 藤 山 小 津 中 原 座 北 村 本 島 井 部 原 橋 岸 瀨 川

Horn 坂 幡 藤 山 小 津 中 原 座 北 村 本 島 井 部 原 橋 岸 瀨 川

Trumpet 小 津 中 原 座 北 村 本 島 井 部 原 橋 岸 瀨 川

Trombone 北 村 本 島 井 部 原 橋 岸 瀨 川

Percussion 阿 上 高 根 間 瀨 川

Piano Tuba 宮 川

弦楽器奏者募集中!

【ファゴット
 オーボエ
 ホルン】

※連絡場所
 宇多宅 ☎0467-22-2242

第38回定期演奏会

シューベルト
 交響曲第8番“未完成”ほか

今秋 10月25日
 中央公民館



●ニコンウルトラビュー
(遠近両用レンズ)
好評発売中!

●コンタクト用
(ソフト・ハードケース)
(クリーナー・保存液) **取扱**

optical・shop
 KAMAKURA
森川眼鏡店
 ☎(22)2964

夏物大量入荷!

紳士服の御仕立は

鎌倉テーラー

由比ヶ浜中央商店街
TEL 22-2408

伝統を生かした最高の味

千羽鶴サブレー
フデソス風ビスケット



鎌倉
風月堂
ほんそれいゆ

由比ヶ浜店 TEL.(22)0963(代)
鎌倉表駅前店 TEL.(22)2538
逗子店 TEL.(71)4730
江の電鎌倉駅名店街
TEL.(23)0928

フランス料理



小町園

横須賀線下馬ガード脇
TEL.(22)2370

JURI et MODE

鎌倉市御成町11-2
(やのやビルB1)
TEL.(0467)22-4105
茅ヶ崎市中海岸1-1-58
(大勝ビル1F)
TEL.(0467)87-1145



KAMAKURA
花色
HANAMURA

特選洋品雑貨
鎌倉八幡通り ☎0467(25)3310

**熱い
予約席。**

パーティー・誕生日・行業のおともに、サンドイッチ
デリカデッセン・ペストリーをご利用下さい
ご予約はお早目に……

青山アンデルセンの店
リトルマーメイド
鎌倉市役所前(TEL25-5025)

鎌倉の雰囲気
おいしいコーヒーと
ケーキを

珈琲と洋菓子
門

小町店 23-0503
北鎌倉店 23-1660

使い捨て人間にならない
様に総合自然療法に
よるご相談とご指導を
いたします。

<オリーブ自然美容法>

生和薬局

● 鎌倉駅西口銀座通り ●
御相談・予約電話(0467)22-2535

わたくしたちは
皆さまに喜ばれる良い印刷物をつくる
ためにも、音楽は大切な糧
であると思っています。



石井印刷株式会社
☎(22)3282(代)

芋川耳鼻科クリニック

鎌倉・小町壱番館ビル3階

電話 (24)7273

YAMAHA

このモデルはC-90です。



いつも、心に駆け足するくらいのリズムを持ちましょう。

心に強むリズムをもっていると、あしたがもっと
明るくかがやいてきます。楽しいリズムをエレ
クトーンでみつけてみませんか。PASSystem
の流れをくんだクリアな音質、多彩な表現機
能が魅力のNEW C-シリーズにC-80、C-90が
加わり、シリーズが充実。いちだんとお求め
やすくなりました。

●C-80 ¥195,000(イス付) ●C-90 ¥240,000(イス付)

●C-100 ¥300,000(イス付) ●C-200 ¥370,000(イス付)

●C-300 ¥450,000(イス付) ●C-400 ¥550,000(イス付)

YAMAHA ELECTONE New C-series

あしたのリズム。

YAMAHA

ヤマハ音楽センター

幼児科・児童科・エレクトーン科・ピアノ科・ジャズポピュラーピアノ科・フルート科
ドラム科・サクソ科・フォークギター科 <村田ビル3F ☎0467(23)0185>

由比ヶ浜六地藏

小林楽器

鎌倉ショップ

ショップ(22)3165 水曜定休
センター(23)0185